

# 協働でつながるからまちづくり

今月号では、登米町と迫町、東和町の取り組みについて紹介します。皆さんの住む地域を元気にし、住み良いまちを作っていく「協働のまちづくり」。紹介した以外にも各地でさまざまな取り組みが行われています。今後も皆さんの活力をまちづくりに生かし、素晴らしい「登米市」を作っていきます。

## 登米町各地域の協働への取り組み

### 【駅前町内会】

駅前町内会では、高齢者世代が多く、行事などへの参加者が年々少なくなっていることから、住民同士の交流のきっかけ作りとして地区内の清掃作業に取り組んでいます。作業には毎回多くの住民が参加し、共同作業を通じてコミュニケーションを深めています。



協力して花壇の清掃をする駅前町内会の皆さん

### 【後舟橋町内会】

後舟橋町内会では夜間の火

災と犯罪を予防しようと、夜間のパトロールを実施しています。

参加者は反射タスキを付け、ライトと防犯ブザーを持ちながら地区をパトロールし、地域の安心・安全な環境づくりに取り組んでいます。

### 【観光案内人倶楽部】

「みやぎの明治村・とよま」観光案内人倶楽部では、登米町を訪れた観光客に観光のガイドをしています。

登米町には年間約40万人もの観光客が訪れ、観光ガイドをする回数が多いときで年間500回ほどにもなります。観光客に登米町の歴史や文化、自然、施設などの案内を通じ、地域の持つ魅力を紹介することによって「来てよかった、もう一度行ってみたい」と感じてもらい、一人でも多くの観光客に訪れてもらえるよう活動に努めています。

また、観光案内の内容を充実させるため、研修会も行っており、人材の育成にも取り組んでいます。



▲協働キャラクター「とめ丸」

## 東和町各地域の協働への取り組み

### 【新小路町内会】

新小路町内会では、解体された市営住宅跡地を地区住民が集うミニ公園にしようとして、住民が協力して作業に取り組んでいます。

ミニ公園の整備作業は、跡地の除草から整地、芝草の植栽、屋根付きベンチの設置などが行われ、すべて地域住民の手で行われています。

ミニ公園は、地域住民の憩いの場としてだけでなく、災害時の一時避難所としても活用できるため、安全・安心なまちづくりにも貢献する活動となっています。

### 【吉田水利組合】

吉田水利組合では、地区内の農地に農機具や苗箱などの洗浄ができる多目的共同洗い

場の整備を進めています。この事業には、農地を耕作する農業後継者が中心となって取り組んでおり、多目的共同洗い場には水車を設置するなど、豊かな農業環境のPRと誰でも気軽に利用できるような施設作りを計画しています。

## 迫町森地区協働まちづくり委員会設置事業

森地区コミュニティ推進協議会では地域が抱える問題を整理し、これからの地域の目標や改善方法などについて住民が話し合う「森地区協働まちづくり委員会」を設置しています。

同協議会では今後も検討会を重ね、地区の将来あるべき姿をまとめた「森地区まちづくり計画」の策定を目指しています。



森地区の課題や今後の方向性についての検討会

## 女性企業家講演会

男女共同参画での地域づくり実現のため、女性のリーダーを養成しようと10月31日、㈱ユー企画の大塚真実さんを講師に招いて講演会が開催されました。

講演会は教育委員会生涯学習課との共催で、登米市女性セミナー受講者を対象として行われました。内容は、江戸時代の人間関係を円満にする知恵（江戸しぐさ）についての講話のほか、グループに分かれての話し合いが行われ、固定観念にとられない考え方の重要性や、話によって自分の考えを人に伝える大切さを学びました。



言葉や立ち居振る舞いの重要性を語る大塚さん

### 【問い合わせ】

企画部市民活動支援課  
02220(22) 2173

# 秋の叙勲・褒章

## 重ねた努力と永年の功績が認められ

2008年秋の叙勲・褒章で、市内から秋山次男さん（豊里町東二ツ屋）、千葉貞さん（中田町柴六）、鈴木米治さん（迫町平柳）、小野寺勇紀さん（東和町米川第3区）、小野寺裕さん（東和町米川第9区）、千葉輝男さん（中田町並柳）が受章しました。

### 旭日単光章

秋山 次男さん（豊里町・85歳）



昭和51年3月から平成12年1月までの23年間、豊里町選挙管理委員会委員として在職し、特に昭和63年3月からは同委員会委員長として委員会の適切な運営に尽力し、自ら開票管理者、選挙長となり選挙の適切な執行に貢献されました。

### 瑞宝単光章

千葉 貞さん（中田町・77歳）



昭和36年、中田町消防団に入団、以来38年の消防歴。平成3年から中田町消防団分団長、平成6年から副団長として火災予防思想の普及、啓発と地域防災活動に尽力しました。平成7年3月に消防庁長官より永年勤続功労賞を受賞されています。

### 瑞宝双光章

鈴木 米治さん（迫町・82歳）



昭和20年、迫町消防団に入団、以来39年の消防歴。昭和47年から登米地区消防事務組合予防課長として、防災行政に尽力されました。昭和58年から退職まで消防本部長を歴任。昭和55年3月に消防庁長官より永年勤続功労賞を受賞されています。

### 瑞宝単光章

小野寺 勇紀さん（東和町・67歳）



昭和40年、東和町消防団に入団、以来37年の消防歴。49年から登米地区消防事務組合消防吏員として、地域防災に尽力されました。平成3年11月に永年勤続功労章、平成12年3月には消防庁長官より永年勤続功労賞を受賞されています。

### 黄綬褒章

小野寺 裕さん（東和町・59歳）



東京農業大学醸造科学科卒業後、昭和46年にヤマカノ醸造株式会社入社後は開発や営業など各分野を担当し、37年間商品の品質向上、需要拡大に力を注がれています。平成18年には「現代の名工」として厚生労働大臣表彰を受賞されています。

### 藍綬褒章

千葉 輝男さん（中田町・79歳）



農業や行政区長をしながらも、昭和55年から平成19年までの27年間、民生児童委員として地域の社会福祉の発展に尽力されました。現在も月1〜2回、市の社会福祉協議会の配食サービスで、高齢者の安否確認などに努められています。